

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 575

事務事業名	簡易水道浄水場施設等維持管理事業
-------	------------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	上下水道局		
課名	浄水課		
課長名	前田 圭一	内線	53-5105
担当者名	瀧下 英貴	内線	53-5105

基本目標		機能的で環境と調和したまち
政策	050304	快適で暮らしやすい都市環境の整備
施策		上下水道の整備
関連施策		

会計	簡易水道事業特別会計	
款	1	簡易水道事業特別会計
項	1	簡易水道事業費
目	1	簡易水道事業費
事業コード		

事業類型	3	施設維持管理(補修)事業(義務)
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者)	誰(何)に対して事業を行うか 浄水場、取水、配水、送水施設及び水道水と給水区域内住民		
意図	対象をどのような状態にしたいか 浄水場等の各施設を常に正常な状態に保ち、給水区域内の需要に見合う水量を確保し、水質基準に適合した水質と所要の水圧をもって、安定的に供給する。		
事業概要	意図を達成するために実施することは何か 浄水施設3箇所、取水施設4箇所、配水施設17箇所、送水施設8箇所、減圧施設9箇所、加圧施設5箇所の維持管理(巡回、点検、整備等)及び、管末12箇所の残留塩素測定を実施している。水質検査については、水質検査計画に基づき実施している。		
事業期間	年度 ~ 平成	年度	実施方法 直営、委託
根拠法令、要綱等	水道法		
国・県補助事業に係る本市単独施策	無		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 巡回点検述べ件数	計画値	12,289	12,289	12,289	12,289	
		実績値	12,289	12,289	12,289		
		達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%	
活動指標	② 配水量	計画値	456	461	463	488	
		実績値	m ³ /日	457	460	471	
		達成度	%	100.2%	99.8%	101.7%	
成果指標	① 安定供給日数	計画値	365	365	366	365	
		実績値	日/年	365	365	366	
		達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%	
成果指標	② 水質基準不適合率	計画値	0	0	0	0	
		実績値	%	0	0	0	
		達成度	%				

水質基準不適合率=(水質基準不適合回数/全検査回数)×100

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	50,943	42,470	32,942	37,099	0	0	0	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他	30,841	26,086	27,945	37,086				
一般財源	20,102	16,384	4,997	13				
② 人件費(千円)	14,593	13,337	15,535	13,257	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	1.80	1.75	2.05	1.70	平成29年度上水との統合により事業終了			
時間外勤務(時間)	144	56	538	170				
嘱託等人数(人)				0.30				
フルコスト(①+②千円)	65,536	55,807	48,477	50,356				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	簡易水道施設の運転管理を民間委託で継続することで、薬品の減量等を含む施設の適正な維持管理ができた。
事業が抱える問題・課題等	

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
有効性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	

今後も民間委託は継続し、維持管理内容の適正な見直しを行い、更なるコスト削減を図る。

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	上水と事業統合し、機器設備等平準化した施設点検、整備及び水運用管理を実施する。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	事業を統合することで、施設管理の効率化及び供給水の安定供給を図る。

1次評価	今後の方向性	方向性は適切であるが、内容について補足、見直し等が必要	2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定			終期設定	
	意見等	適切な運転管理を行うことで安定的に水量・水質を確保し、動力費や薬品費及び修繕費など維持管理費の削減に努める。	内容		

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。